

講義名	社会調査演習 【履修条件要確認】		
科目区分	特別研究		
担当教員	栗田 真樹		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	33053

主題と概要

社会調査法のうち、質問紙調査法と、フィールドワークの方法を用いながら人々の生活に関する諸問題に関する調査実習を行なう。具体的な対象としては、人々の消費の場であり、生活空間でもある「フードマーケット」や「商店街」を取り上げる予定である。演習IIでは、演習Iを受けて、2つのコースごとに、報告書の作成を目指す。統計調査においては、データ解析のデザイン(基礎的なデータ解析法)、実査の方法、実査、データ・コーディング、データ・エディティング、SPSSによるデータ解析、報告書の作成といった一連の統計調査法の手順・技法を、実践的に修得することを目的とする。フィールドワークにおいては、演習Iにおいて概略決定された流れに則って調査を実施し、明らかとなった調査内容を分析・解釈し、報告書にまとめ、それを調査対象となった集団ないし個人にフィードバックするまでを行う。

到達目標

・「社会調査演習I」をもとに報告書を作成する。

提出課題

演習IIの終了時に報告書の作成を義務付ける。

評価の基準

出席・平常課題・グループへの参加状況等を総合して評価する。

履修にあたっての注意・助言他

社会調査土科目の必修科目であるので、社会調査士資格希望者はこの科目とともに、同年度開講の「社会調査演習I」も必ず受講すること。なお「社会調査演習I」を履修していなければ「社会調査演習II」は履修できない。

授業時間外に演習活動の時間を設定する可能性があるため、その点を踏まえて履修すること。

事前に社会調査土科目（A領域～F領域）を3科目以上単位修得しておくこと。

事前申込制とするので、資格取得希望者は上記の条件を満たしたうえで申し込み手続を行うこと。

教科書

・ 特には指定しない。・

プリント資料及び参考文献

随時配布、紹介する。

授業計画

- 1 演習のイントロダクション
- 2 社会調査の実査
具体的方法と過程の確定
- 3 データ・コーディング
調査対象の確定と交渉への道筋
- 4 データ・エディティング
文献研究（1）
- 5 データ入力
文献研究（2）
- 6 単純集計
フィールドワークプラン（1）
- 7 クロス集計1
フィールドワークプラン（2）
- 8 クロス集計2
調査対象者との接触交渉
- 9 ピアソンの積率相関係数
フィールドワーク（1）
- 10 尺度構成法1
フィールドワーク（2）
- 11 尺度構成法2
フィールドワーク（3）
- 12 多変量解析1
結果の吟味
- 13 多変量解析2
報告書の作成（1）
- 14 報告書の作成1
報告書の作成（2）
- 15 報告書の作成2
調査対象者への報告

予習・復習

この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と決められています。90時間の内訳は授業で30時間（2時間×15回）、予習・復習で60時間（4時間×15回）です。

予習・復習等、授業時間外で60時間の学修を達成できるように主体的・積極的に取り組んでください。

備考